学校番号	3001

令和８年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ Tutti＋　（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「鑑賞」「楽典」の分野を年間通して学習します。
・ 音や音楽のよさや美しさなどを感じ取り，そこに価値を見いだせる感性を養います。
・ 学習の到達度は、授業内の筆記/実技テストや普段の授業への取り組みで評価します。
・ 音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

a: 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、楽典の技能を身に付け、創造的に表すことができる。
b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現の工夫と表現意図をもつことができる。作品の理解を深め、よさや美しさを自ら味わうことができる。
c: 音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、鑑賞・楽典の学習に主体的・協働的に取り組むことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b: 思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。 また、各作品の文化的・歴史的背景や音楽的特徴について理解している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現の工夫と、表現意図をもっている。 作品の理解を深め、よさや美しさを自ら味わおうとする。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、鑑賞、楽典の学習に主体的・協働的に取り組もうとする。
評価方法	実技テスト 学習プリント 筆記テスト	実技テスト 学習活動の様子 学習プリント	学習活動の様子 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	歌おう、響かせよう	【歌唱】 ・オリエンテーション 今までの音楽経験を再認識するとともに、音楽を幅広く、様々な視点から捉える態度を養う。 ・校歌と唱歌 毎日耳にする校歌の歌詞を味わいながら歌う。既習教材である「夏の思い出」、唱歌などを通し、歌唱表現を創意工夫する手立てを学ぶ。 ・輪唱によるハーモニーづくり 【楽典】 ・音部記号、音の長さと高さ、音名・階名、記譜法	a:曲想、構造、歌詞との関りについて理解し、曲にふさわしい発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現している b: 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、その関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 c: 日本語の抑揚，アクセント，リズムなどの言葉の特性を感じ取り，自己のイメージをもって旋律をつくることに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	学習プリント 実技テスト	学習プリント 実技テスト 学習活動の様子	学習活動の様子 ワークシート
	西洋音楽の源流を耳でたどろう	【鑑賞】 キリスト教と結びついて発展してきた西洋音楽の源流を、中世からルネサンスの音楽の鑑賞と文化的・歴史的背景の学習で辿り、その良さや美しさを自ら味わって聴く。 ○グレゴリオ聖歌 ○オラトリオ「メサイア」	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、その関わりについて考えるとともに、自分や社会、音楽表現との共通性や価値のついて考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c：西洋音楽の源流を、中世からルネサンスの音楽の鑑賞と、文化的・歴史的背景の学習で辿ることに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	筆記テスト 学習プリント	ワークシート 学習プリント	ワークシート 学習活動の様子

	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 アルトリコーダーの奏法を身に付けるとともに、技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら、アンサンブルの楽しさを味わう。 〇メリーさんの羊、フレールジャック、チューリップ、いつも何度でも 【楽典】 調性、速度、拍子、調号	a: 曲想や楽器の音色や奏法との関わり、表現の特徴について理解している。奏法、調和を意識した演奏技能を身に付け、表現しようとする。 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，音楽のよさや美しさ表現しようとしている。 c:奏法を身に付けることや、表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技 テスト	実技 テスト ワーク シート 学習活動の様子	学習活動の様子 ワーク シート
二学期	歌の旅に出よう ～イタリアとドイツ～	【歌唱】 イタリア語、ドイツ語の言葉の特性や、曲にふさわしい発声を意識し、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして歌唱表現を創意工夫する。 〇サンタルチア、オーソレミオ、喜びの歌、野ばら 発声にはJ-POPなどを取り入れ、他国の歌を取り組むにあたり不安を取り除くとともに、発音の違いを意識する。 〇少年時代、秋の唱歌	a:各国の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解し、曲にふさわしい発声，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 b: 音色，リズム，旋律，強弱，構成やそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，自己のイメージをもってどのように歌うか表現意図をもっている。 c: 各国の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技 テスト 学習 プリント	実技 テスト ワーク シート 学習活動の様子	学習活動の様子 ワークシート

	ギターに挑戦！	【器楽】 ギターの基本的な奏法を身に付けるとともに、技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫し、アンサンブル活動、弾き歌いの楽しさを味わう。 〇ギターエチュード 翼をください ドライフラワー	a: 曲想とギターの音色との関わり、表現の特徴について理解し、正しい奏法，身体の使い方などの技能を身に付け，器楽で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成やそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、自己のイメージをもってどのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: ギターの奏法を身に付けることや音楽活動をすることに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技 テスト 学習 プリント	実技 テスト ワーク シート 学習活動 の様子	学習活動 の様子 ワーク シート
	旋律に合う和音を選ぼう	【創作】 Chrome ミュージックラボ内のソングメーカーを使い、作曲をする。前段階として好きなように旋律を作り、その後和音の成り立ち、旋律との関係性を意識しながら、創意工夫をして 8 小節程度の曲を作る。 【楽典】 和音の種類、主要三和音	a:音の連なりや重なりによる響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について理解している。 b：リズム、速度、旋律、テクスチュア、形式、構成やそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、自己のイメージをもってどのように創作するかについて表現意図をもっている。 c：和音に合う旋律を選ぶことに関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	作品の提出	ワーク シート	学習活動 の様子 ワークシート
	物語と音楽との関わりに注目しよう ～総合芸術における音楽の魅力～	【鑑賞】 オペラやミュージカルなどの総合芸術において、物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかを考える。	a：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、他の芸術との関わりなど、それぞれ理解している。 b：音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、その働きを感受しながら音楽表現の共通性や固有性について考えて聴く。 c：物語と音楽が関わり合いながら、どのような表現上の効果をもたらしているか、また他文化への影響・発展にも関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	筆記 テスト 学習 プリント	ワーク シート 学習 プリント	ワーク シート 学習活動 の様子

三学期	混声合唱を美しく響かせよう	【歌唱】 混声合唱の響きを味わいながら、他者との調和を意識して歌う。また、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら、歌唱表現を創意工夫する。	a：曲想と音楽の構造や歌詞との関り、歌唱表現の特徴を理解しながら、他者との調和を意識して歌う技能、表現を生かした技能を身に付け、表している。 b：音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、その関わりを考えるとともに、表現意図を持っている。 c：混声合唱の響きや他者との調和を意識して歌い、曲の内容も理解しながら主体的・協働的に歌唱活動に取り組む。	実技 テスト 学習 プリント	実技 テスト ワーク シート 学習活動の様子	学習活動の様子 ワークシート
	器楽アンサンブルを楽しもう	【器楽】 リコーダー、ギター、ハンドベルのどれかを選択し、音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。 〇ふるさと 威風堂々	a:曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能，他者との調和を意識して演奏する技能，表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの特質や雰囲気を感受しながら，その関わりについて考え，自己のイメージをもってどのように演奏するか表現意図をもっている。 c:アンサンブル活動をすることに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技 テスト 学習プリント	実技 テスト ワーク シート 学習 活動の 様子	学習活動の様子 ワーク シート
	世界の様々な音楽の魅力 ～インドネシアのガムランとケチャ～	【鑑賞】 諸民族の様々な音楽から音楽表現の多様性を学ぶとともに、文化的・歴史的背景にも注目しながら、音楽文化の固有性、共通性を考える。 また、1年間の総まとめとして、学んだ知識、音楽表現の多様性を見つめ、生涯にわたる音楽の捉え方、関わり方を考える。	a：音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b：音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、その働きを感受しながら音楽表現の共通性や固有性について考えて聴く。 c：世界の諸民族から音楽の多様性を捉え、日本の音楽とも比較し、音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考え、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	筆記 テスト 学習プリント	ワーク シート 学習 プリント	ワーク シート 学習活動の様子

※　表中の観点について

a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度